

## 2024年度 入学式

桜の花も満を持して咲き揃い、心華やぐ季節となりました。夢と希望に満ちたこの美しい季節に、皆さんを光塩女子学院にお迎えして、入学式を行えますこと、大変うれしく思っております。

今日から新しい生活を始められる中等科・高等科一年生の皆さん、そして、ご臨席の保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。心より、お祝いとお慶びを申し上げます。今日からスタートする光塩女子学院での生活が日々、新たな発見と気づき、将来へとつながる歩みと成長の時となりますようお祈り申し上げます。

今日ここに皆さんが集まり、この光塩女子学院で出会い、共に新たな学びを始めることは、皆さんご自身が光塩を選ばれたと同時に、神様が皆さんをここに導いてくださったということだと、私は信じています。

光塩女子学院の校名は、「あなたがたは世の光である」「あなたがたは地の塩である」という新約聖書マタイによる福音書の中のイエス・キリストの言葉から名づけられたものです。

イエスは、皆さんに「世の光」、「地の塩」になりなさいとは言いませんでした。

皆さんお一人おひとりがありのまま、そのままで、ユニークなかけがえのない「世の光」であり、「地の塩」である、とっておられます。

皆さんは感性豊かな多感な時期を迎えます。周りの人のことが気になり、これから様々なことに思い悩むこともあるでしょう。自分と比べてあの人はどうしてあんなに優れているのだろう。自分は どうしてこんなにできないのだろう、駄目なのだろうと落ち込むこともあるかもしれません。

また、勉学や部活動などを通して、活躍の場面が増えていきます。これはとても喜ばしいことです。しかし、そのおかげで自分と異なる考えや好みを持つ人との関わりも増え、受け入れることが難しく思い悩むこともきっとあるでしょう。

さらに、成長と共にできることがどんどん増えていきます。やりたいことも増えますし、やらなければならないことも増えていきます。これもとても喜ばしいことです。しかし、これがやりたいのだけれども、あれをやらなければならないという具合に、やるべきこととやりたいことの狭間で、悩まされ、苛立ちを覚えることもあるでしょう。

そして、あれもやらなければならないし、これもやらなければならない、どうしようという具合に焦燥感にかられ心の中に渴きを覚え、潤いを必要とする状態になることもあるかもしれません。そんな時はぜひ、この校名の由来である「あなたがたは世の光である」「あなたがたは地の塩である」という聖書の言葉を思い出してください。

さて、この記念すべき喜ばしい日に、この「世の光」と「地の塩」についての理解をさらに深めるために、一つの詩を紹介したいと思います。男子跣足カルメル修道会の奥村一郎神父様が書かれたもので、題名は「そのままに」です。

「そのままに」奥村一郎

何も考えないで、何も思わないで、ただそのまま生きたい。

悲しいことも、楽しいことも、淋しいことも、

つらいこともあるけれど、悲しみは悲しみのままに、  
 楽しみは楽しみそのままに、そのまま生きたい。  
 この地上のことは、みんな、いつかは消えていく。  
 万物流転、嫌なことも、楽しいことも。  
 小鳥が小枝で、虫が草むらで鳴くように。  
 そのまま生きたい。あまり窮屈なことを言わないで、  
 あまり自分の好みを人に押し付けないで、  
 みんなと、そのままに自由な空気を吸って生きたい。

神様は何一つも同じ素質を同じように  
 お与えにならなかったのだから。  
 小さいものは小さいなりに、大きいものは大きいなりに、  
 そのまま、与えられたそのままを、  
 恥ずかしがることも、恐れることもない。  
 そのまま受けて、主を讃えよう。  
 狭い心にならないように。間違っただって、いいじゃないか。  
 間違いも、そのままに受け取れば、少しは謙虚の薬になる。  
 神様は、私たちが、失敗することを責められない。  
 そうしたことにこだわって、いらいらしたり、  
 無闇に、自分をいじめることを、嫌われる。  
 何も考えないで、何もしないで、  
 そのままに、うけて生きよう。

(カルメル霊性センターニュース 300号より)

私たちは、日常生活の中では、あらゆるやりたいことと、あらゆるやらなければならないこと、いわゆる「すること」「doing」で頭がいっぱいになることがしばしばあります。私もそのようになることが度々あります。それは、役に立つか立たないか、できるかできないか、出来栄えがどうか、上達したかどうか、点数が高いか低いか、あの人に好かれているかどうか、この人に嫌われているかどうか、ということが気になる価値観で心の中が埋め尽くされてしまう状態です。長く続くと息苦しくなります。

しかし、私たちは自分の心の中の深いところに、他の人にはない特別な光、そして塩味を持っています。そこに目を向ける時、「すること」「doing」ではなく、今ここに私があること、今ここに私がいること、今ここに私が生きていること、今この人と一緒にいること、私たちがここに共にいること、私たちが今共に歩めていること、すなわち「being」で心が満たされます。

そうすると、私たちの身の周りに日々起きる良いことも悪いことも、楽しいことも辛いこともそのまま受け取って、深いところでの喜びに満たされ、感謝することになります。

皆さんお一人おひとりはそのままでかけがえのないユニークな存在です。そして、今一緒にいる私たちはかけがえのない関わりを築いていくのです。息苦しくなったらぜひ立ち帰ってください。「世の光」「地の塩」である自分自身に。

最後になりましたが、保護者の皆様、小学校・中学校の過程を終え、一段と成長なさっ

たお嬢様のお姿を前に、さぞお喜びでいらっしゃるかと存じます。

この最もご成長めざましい大切な時期を、光塩女子学院にお託しくださったことに、感謝申し上げます。お預かりいたしましたからには、私ども精一杯努力いたす所存でございます。

お嬢様方は、これから思春期という成長の過程で、大変重要かつかけがえのない時を過ごされます。この大切な時期、信頼関係に根ざした、ご家庭でのかかわりと、ご本人の意思を尊重された、ご家庭での対話・心の通い合いが不可欠です。どうぞ常に見守り、変わらぬ愛を持ってお嬢様と接して下さるようお願い申し上げます。

新入生お一人おひとりのより良いご成長のために、ご家庭と学校との誠実なかかわりと、連携とが何より大切であるかと存じます。保護者の皆様方からの、忌憚のないご意見と、ご協力とを賜りますよう、心よりお願い申し上げます、お祝いと歓迎のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠におめでとうでございます。